

令和4年調査結果の概要

● 出生数は減少

出生数は35,970人で前年より1,570人減少し、人口千対の率は7.2（前年7.4）であった。

合計特殊出生率は1.33で、前年の1.37を0.04下回った。

● 死亡数は増加

死亡数は61,302人で、前年より4,892人増加し、死亡率（人口千対）は12.2（前年11.2）であった。

死因順位の1位は悪性新生物、2位は心疾患、3位は老衰、4位は脳血管疾患であった。

死亡数に占める割合は、悪性新生物26.3%、心疾患11.9%、老衰8.3%で、以下脳血管疾患6.1%、肺炎5.1%と続いている。

● 自然増減数は増加

自然増減数（出生数から死亡数を減じた数）は-25,332人で、前年の-18,870人より6,462人増加し、自然増減率は-5.0と、前年に続きマイナスとなった。

● 死産数は減少

死産数は736胎で、前年の799胎より63胎減少し、死産率[出産（出生＋死産）千対]は20.1で、前年の20.8を0.7下回った。

● 婚姻件数は減少

婚姻件数は21,840件で、前年の22,009件より169件減少し、婚姻率（人口千対）は4.3で、前年の4.4を0.1下回った。

● 離婚件数は減少

離婚件数は8,444件で、前年の8,564件より120件減少し、離婚率は1.68で、前年の1.70を0.12下回った。